

令和4(2022)年度 柏崎技術開発振興協会 事業計画

【概要】

本協会事業の柱である技術者育成支援事業「ものづくりマイスター・カレッジ」は、開講してから17年目となる。引き続き若手技能者の育成・定着に取り組むとともに、技能検定への挑戦を後押しする。

受注開拓支援策としては、見本市への単独出展にかかる経費助成のほか、機械要素技術展への共同出展を通じ、新たな取引先開拓と受注拡大を支援する。

新たな製品や技術の開発・改善により事業拡大や新分野への参入を目指す企業への支援策としては、「ものづくりチャレンジ支援事業」の活用や、ものづくり補助金等の競争的資金への挑戦を支援する。

<事業細目>

1 技術者育成支援事業

- ◆ ものづくり活性化センターを会場に、第16期ものづくりマイスター・カレッジを実施する。

《ものづくりマイスター・カレッジの概要》

研修区分	内容
新入社員実務講座 (4月6日から8日まで)	安全衛生教育、工作機械・工具・測定器、品質管理、5Sの知識、 図面の見方初歩
短期企画研修(適宜)	研修講義の企画、講師派遣等の業務を委託している、柏崎地域機械 技能士会と連携し協議の上、適宜開催
事業所オーダー研修(通年)※1	事業所のオーダーに応じてカリキュラムを編成
長期研修(技能検定コース) (例年9月から翌年7月まで)※2	数値制御機械2級対策コース(NC旋盤・NCフライス) マシニングセンタ2級対策コース
長期研修(機械保全コース) (例年9月から翌年3月まで)※3	機械保全2級対策コース

◆ 運営体制

《ものづくりマイスター・カレッジ運営委員会》

事業内容や講師の選考に関して審議する。

委員長 寺島 正二郎(新潟工科大学工学部工学科機械システム学系教授)

副委員長 品田 孝行(株品銀鉄工所代表取締役)

副委員長 藤巻 健(有藤巻製作所代表取締役)

委員 宮澤 雅樹(新潟県立柏崎工業高等学校教頭)

委員 山崎 徹(柏崎青年工業クラブ会長)

委員 藤田 昇(柏崎地域機械技能士会)

《ものづくりマイスター・カレッジ関連業務》

第16期は、令和2(2020)年4月に発足した柏崎地域技能士会と業務委託契約を締結し、ものづくりマイスター・カレッジにおける講義内容の企画・作成及び講師派遣や講義の実施、講義に付帯する業務を担ってもらう。

※1 事業所オーダー研修は、例年は通年で実施していたが、柏崎地域技能士会の講師派遣体制の状況を見極めて第16期の開始時期を秋以降として実施する。

※2 長期研修(技能検定コース)は、令和4(2022)年3月2日に受講者9名をもって第16期を開講し、7月までの5か月間で実施する。

※3 長期研修(機械保全)の開講は、令和4(2022)年8月とし、柏崎地域機械技能士会と連携し、カリキュラムの充実を図る。

2 受注開拓支援事業

◆ 見本市出展支援事業

助成率：会場借上料（出展料）やコンテンツ製作費等の2/3

助成上限額：50万円（対面型）

25万円（非対面型）

※応募多数の場合、予算の範囲内で交付額を按分

◆ 産地PR事業

第27回機械要素技術展（M-Tech）に共同出展する。

会期：令和4（2022）年6月22日（水）から24日（金）まで

会場：東京ビッグサイト

概要：3小間・8社で共同出展

※第28回機械要素技術展が、令和5（2023）年6月21日（水）から23日（金）までの間、東京ビッグサイトを会場に開催される予定であることから、共同出展を検討する。

◆ 研修事業

新規取引先開拓や受注拡大に繋がる企業向け研修を実施する。

3 ものづくりチャレンジ支援事業

◆ 技術・製品の開発改善や販路開拓への取組に対し、助成金を交付する。

募集枠	助成率	助成上限額	件数
開発改善枠	2/3	250万円	3件
販路開拓枠	1/2	100万円	2件

※令和4（2022）年度からデジタル化推進枠を廃止し、今後は柏崎市IoT推進ラボ協議会が実施する補助事業の活用を促進する。

4 相談員事業

◆ 経営課題や技術課題、知財課題等の個別課題に対し、案件に応じた専門家等を派遣する。

《相談員事業》 1案件3回まで専門家を無料派遣

◆ 研究開発や人材育成等、企業の積極的な取組に対してアドバイスや専門サポートを行う。また、新潟県工業技術総合研究所、にいがた産業創造機構（NICO）等の関係機関との調整役を担う。

5 産学連携推進事業

◆ ものづくり開発塾

新潟工科大学と連携し、最新技術に関する知識の習得や体験する機会を提供する。

6 若手人材育成事業

◆ 柏崎青年工業クラブが実施する若手経営者や幹部社員の人材育成事業を支援する。

◆ 次代を担うものづくり人材の育成や地元定着に資する高校生インターンシップ事業を支援する。

7 一般事業

◆ 柏崎青年工業クラブが、令和4（2022）年度に創立50周年を迎えることから、記念して開催される「柏崎工業フェスティバル～柏崎青年工業クラブ50周年～」の事業を支援する。

8 関係団体との連携促進

◆ 他の産業支援機関や金融機関、大学等教育機関等と連携した包括的産業支援体制を構築する。

《新潟県工業技術総合研究所》 主に技術的側面から連携を図る。

《にいがた産業創造機構》 主に経営的側面から連携を図る。

《広域ビジネス応援ネットワーク》 地場の産業支援機能として連携を図る。